

地方凡例録

7登3
470
3

三

7 3
470
3



門 470
卷 3

地方自例録卷之三

- 檢見仕方之平
- 畝川檢見之平
- 有毛檢見之平
- 附 色丸檢見之平
- 諸島岳檢見之平
- 阪野之平
- 老上坊見檢見之平
- 志々五坊見之平
- 本條坊見之平



附本條日中條より一節を引く

一 補換りて之を

一 五と五民之を

一 定分りて之を

一 善地を証返りて

一 田地を爲すに及ぶを

附分りて之を

一 根元之を

一 虚を實と爲すを



地方自例課金を之

一 捨財仕法之を

田方之を以て今之に改稱し其山庄の租税を格を

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

格とす之を以て其租税を以て之を以て其租税を以て

春の合位は毛付純三合と云ふは皆其の如く
之勿論其の合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
りたるに内入の仕方の村の如くは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
多かるに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
中右位は村位と云ふは皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
りたるに内入の仕方の村の如くは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
多かるに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下

を元トり時程に松林ト流石竹ト松葉肉は
まゝに一程度と云ふは皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
りたるに内入の仕方の村の如くは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
多かるに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下

坪川と云ふは皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
りたるに内入の仕方の村の如くは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
多かるに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
りたるに内入の仕方の村の如くは皆其の如く
ゆへに其の如く合位は皆其の如く純三合と云ふは皆其の如く
多かるに其の如く合位は皆其の如く田舎の如く不持の下
由るに合位は皆其の如く田舎の如く不持の下

一 山名宿... 市茂... 什... 条... 合... 地
 一 葉... 一... 葉... 地... 葉... 葉... 什... 葉...
 一 勿... 下... 一... 葉... 一... 葉...
 一 言... 何... 何... 何... 何... 何...
 一 山... 山... 山... 山... 山... 山...
 一 内... 山... 山... 山... 山... 山...
 一 山... 山... 山... 山... 山... 山...
 一 山... 山... 山... 山... 山... 山...
 一 山... 山... 山... 山... 山... 山...
 一 山... 山... 山... 山... 山... 山...

右... 山... 山... 山... 山... 山...
 一... 山... 山... 山... 山... 山...

何山山

山山山山山

何山何那

何村

大村

山山山山山

右... 山... 山... 山... 山... 山...
 一... 山... 山... 山... 山... 山...
 一... 山... 山... 山... 山... 山...
 一... 山... 山... 山... 山... 山...

本島に於ては、先づ、
二行と云ふは、
一 本島に於ては、

一 本島に於ては、
附本島、日中、
本島に於ては、

本島に於ては、
出雲、
西美、
秀吉、
内一、
本島、
名、

本島に於ては、
後、
之、
一、

一 本島に於ては、
古、

一 本島に於ては、
相、
田、

多一又右古人之抄也

本條之條由今分也

一 編年

他 本條之條由今分也 本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

本條之條由今分也

一 月

本條之條由今分也

本條之條由今分也

一 月

本條之條由今分也

本條之條由今分也

一 月

本條之條由今分也

本條之條由今分也

一 月

本條之條由今分也

本條之條由今分也

徳永一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ

徳永一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ
一院の法を地蔵に二つ世に二つと申すは是れ

一
徳永一院

かゝる田地のまじり地振振を多くし一區一振をあたふ
り振を多くする内振刀を外に性助カセ七五三三ノ一振
とぬきまじり振むりノ又田振多し振るもの一ノ五振を
てもれの振を左振も方有大田に五言振振もまじり
る性五振寄振振ノ振も振六振をあたふまじり
一ノ五

田庄地極度代地等のあり留一は高田のあり山
庄とともありありありありありありありありありあり
てのありありありありありありありありありありあり
僻るより上り振を性心と用ひ振るものありありあり
一ノ五ありありありありありありありありありありあり

五年とありありありありありありありありありありあり
不本振よりありありありありありありありありありあり
ありありありありありありありありありありありあり
拍口今よりありありありありありありありありありあり
十一年昔年よりありありありありありありありありありあり
一ノ五ありありありありありありありありありありあり
ありありありありありありありありありありありあり
ありありありありありありありありありありありあり
ありありありありありありありありありありありあり
ありありありありありありありありありありありあり

道に都の土を揚るる事久しむる能く年々しんし
今もあはれいふ事いふにせしむるにせしむるに
のふかきよはせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに

と田園に集るる事いふにせしむるにせしむるに
いふ事いふにせしむるにせしむるにせしむるに

